

令和8年度

新規採択

県営土地改良事業計画書

県営かんがい排水事業（保全合理化型）

山口地区

県名 岐阜県

地区名 山口地区

事業主体 岐阜県

目 次

第1章	目 的	1	第3節	用水計画	27
第2章	地域及び地積	1		1. 計画基準年	27
第1節	地 域	1		2. 計画かんがい方式	27
第2節	地 積	1		3. 計画用水系統	27
第3章	現 況	2		4. 計画用水量	29
第1節	気象及び海象	2	第4節	5. 水源計画	30
	1. 一般気象	2		排水計画	32
	2. 特殊気象	2		1. 計画基準雨量	32
	3. 海 象	3		2. 計画排水方式	32
第2節	土地状況	3		3. 計画排水系統	32
	1. 土地、土壌及び侵食の程度	3		4. 計画排水量	33
	2. 土地分類	5	第5節	5. 排水対策	33
	3. 土地利用の状況	6		6. 湛水検討	34
	4. 土地所有の状況	7	第6節	道路計画	35
第3節	水利状況	8		1. 道路及び索道	35
	1. 用水状況	8		2. 路線配置図	36
	2. 排水状況	11	第7節	農用地造成計画	36
	3. 河川状況	14		1. 農用地造成計画	36
第4節	道路現況	16		2. 土壌改良	37
	1. 道路概況	16		洪水調節計画	37
	2. 主要道路一覧表	16		1. 計画基準雨量	37
第5節	地域農業の概況	17		2. 計画洪水量及び調節量	37
	1. 産業別就業人口	17		3. 貯水池	37
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況	18		4. 洪水調節検討	38
	並びに専兼業別農家数	18	第8節	5. 管理計画	38
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	18		干拓計画	38
	4. 主要作物作付状況	19	第9節	農用地整備計画	39
	5. 農業の動向	20		1. 区画整理	39
第6節	地域環境の概況	20		2. 暗渠排水	39
第4章	一般計画	21		3. 客 土	40
第1節	事業計画の要旨	21		4. 農地保全	40
	1. 要 旨	21	第10節	老朽ため池改修計画	41
	2. 事業別面積	21		1. 洪水吐改修計画	41
第2節	営農計画及び土地利用計画	22		2. 堤体補強計画	41
	1. 営農計画の概要	22		3. 取水施設改修計画	41
	2. 土地利用区分	22	第5章	主要工事計画	42
	3. 作付方式	23	第1節	用水施設	42
	4. 生産計画	24		1. 貯水池	42
	5. 労働改善計画	25		2. 頭首工	42
	6. 級地別土地利用区分	26		3. 揚水機	42
	7. 土地配分計画	26		4. 用水路	43
				5. その他かんがい施設	43

目 次

第2節	排水施設	43
	1. 排水水門	43
	2. 排水機	44
	3. 排水路	44
	4. その他排水施設	44
第3節	道路及び索道	45
	1. 道路	45
	2. 索道	46
第4節	農用地造成	46
	1. 農用地造成	46
	2. 土壌改良	47
第5節	洪水調節施設	47
	1. 貯水池	47
	2. 頭首工及び導水施設	47
第6節	干拓施設	48
	1. 堤防	48
	2. 潮止め	48
	3. 付属施設	48
	4. 埋立	49
第7節	農用地整備施設	49
	1. 区画整理	49
	2. 暗渠排水	49
	3. 客土	50
	4. 除礫	50
	5. 農地保全	50
第8節	老朽ため池改修施設	51
	1. 貯水池	51
	2. 堤体補強施設	51
第6章	附帯工事計画	51
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	52
第8章	環境との調和への配慮	52

第9章	換地計画の概要	52
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	52
第2節	換地区の設定	52
	1. 換地区の名称、所在、面積	52
	2. 換地区を設定する理由	52
第3節	換地計画樹立の基本方針	52
	1. 従前の土地の面積の基準	52
	2. 用途別予定地積	53
	3. 農用地集団化の方針	54
	4. 非農用地の換地方法	54
第4節	土地の評価法及び精算の方法	54
	1. 評価の方法	54
	2. 精算の方法	54
第5節	換地計画樹立の年度計画	54
第6節	換地処分 of 時期に関する特則	54
第10章	事業費の総額及び内訳	55
第11章	効用	56
第12章	関連する事業	56
第13章	現況・計画図面	56

第1章 目 的

(1) 必 要 性

本地区は岐阜県高山市の山口町内に位置する畑地帯である。

用水は、一級河川大八賀川を水源とし、山口揚水第一機場から取水した用水をパイプラインで山口揚水第二機場へ揚水し、更に山口揚水貯水槽まで揚水し、受益地へ配水している。

現況の水利施設は、供用開始後50年が経過し、各施設の老朽化が進行しているため、本事業で施設の長寿命化に向けた整備を行う。

(2) 緊 急 性

山口地区は造成から約50年が経過しており、施設の老朽化が生じている。

水源の一級河川大八賀川の取水施設から取水した用水を第一揚水機場、第二揚水機場で貯水槽へ揚水し、受益地へ配水している。配水系パイプラインは、樹枝状配管で受益地内に配管され、給水栓で各ほ場で取水している。

このうち、取水管や揚水ポンプは老朽化が進行しており、更新する必要がある。また、第一揚水機場は大雨により浸水することから高地への移設が必要である。

そのため、本事業で施設の長寿命化に向けた整備を行うものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地 域	備 考
水利施設等保全高度化事業	高山市山口町	

第2節 地積

R 7年11月現在 (第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田	畑	その他	小計	山林	原野	池沼	道水路敷	非農用地	計	備 考
		ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
水利施設等保全高度化事業	高山市山口町		28.8		28.8						28.8	かんがい受益面積
	計	0.0	28.8	0.0	28.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.8	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	高山観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1899年～2025年	4月～10月	11月～3月		
平均気温		18.1℃	2.1℃	10.1℃	
降水量	平均	180.0mm	103.3mm	141.6mm	
	基準年	-mm	-mm	-mm	
降水日数	平均	20日	17日	18.2日	
	基準年	-日	-日	-日	
根雪期間	11月28日～3月25日(117日間)				
無霜期間	-月-日～-月-日(-日間)				
最多風向	北北西	最大風速(m/s)		36.0	

国土交通省 気象庁 アメダスデータ より

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
高山観測所																
観測期間	1899年～2025年															
最大日雨量	(mm)	266.1	1910.9.7	/	256.5	2004.10.20	/	232.0	2014.8.17	/	220.0	1971.9.6	/	193.3	1935.6.29	/
最大時間雨量	(mm)	62.0	2018.7.4	/	57.0	2014.8.17	/	57.0	2004.10.20	/	56.5	2012.8.31	/	52.0	1940.8.4	/
最大4時間雨量	(mm)			/			/			/			/			/
最高気温	(°C)	37.7	2019.8.13	/	37.3	1994.8.8	/	37.2	1994.8.16	/	37.1	2018.7.19	/	37.1	2001.8.2	/
最大風速・風向	(m/s)	南西 36.0	1998.9.22	/	南 33.6	2004.8.31	/	南南東 33.3	2018.9.4	/	南南東 29.8	1991.9.27	/	28.0	1975.8.23	/

国土交通省 気象庁 アメダスデータ より

3. 海象

該当なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
実測値									

注) 「海象」は海に排水する計画の場合。

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高		備考
		1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			15°~20°	20°以上	計	最高 (m)	最低 (m)	
		以下	~ 1/100	~ 1/20	~ 1/11.5	~ 以上				8°~10°	10°~15°	8°~10°						
水利施設等保全 高度化事業	面積 (ha)							-	28.8	-	-	-	-	-	28.8	709.3	631.0	
	比率 (%)							-	100	-	-	-	-	100				
合計	面積 (ha)														28.8			
	比率 (%)														100			

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°~15°の場合8°~10°、10°~15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°~15°。

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面積 (受益地) (ha)	備 考
	土 壤 断 面								堆積様式	母材		
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層				
					表土	下 層 土						
一層					二層	三層						
江名子統(江名子-1)	黄褐/黄褐	無	無	無	強粘質	強粘質	-	無	残積	非固結 水成岩	28.8	かんがい受益面積
阿木統(阿木-1)	黒色/灰褐	表層 多腐植	無	無	強粘質	強粘質	-	無	洪積	非固結 火成岩		
計											28.8	

注)「土壤統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壤区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壤統。

該 当 な し

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガ リ 侵 食 の 程 度		備 考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm 未満	3mm~ 5mm	5mm 以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)											
	比率 (%)											
	面積 (ha)											
	比率 (%)											

2. 土地分類 該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	農用地造成											計 (ha)	備考
	1級地 (ha)	2級地				3級地				4級地			
		※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
計													※は傾斜以外の要因によるもの

該当なし

(第4表-2-2)

市町村名	干拓				計 (ha)	備考
	1級地 (ha)	2級地 (ha)	3級地 (ha)	4級地 (ha)		
計						

3. 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地							山 林		
		水 田		普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	茶園 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)
		1毛作田 (ha)	2毛作田 以上 (ha)								
水利施設等保 全高度化事業	高山市	1,812	-	1,026	-	131	-	-	-	189,417	-
合 計		1812	0	1026	0	131	0	0	0	189,417	0

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

H 28年 12月現在(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
水利施設等保 全高度化事業	高山市	-	-	189,417	2,969	
合 計		0	0	189,417	2,969	

出典

- ・ 2020年農林業センサス VII農山村地域調査
1総土地面積及び林野面積
- ・ 2020年農林業センサス II農業経営体
7経営耕地の状況

※ 山林のうち、用材林と薪炭林の資料はないため、用材林に現況森林面積を記載

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有		計	備考
	区分					
農村地域 防災減災 事業	面積 (ha)		28.8		28.8	かんがい受益面積
	受益者数 (人)		93		93	
	筆数 (筆)		(316)		(316)	
	権利関係		個人所有			
	備考 (関係戸数)					
	面積 (ha)					
	受益者数 (人)					
	筆数 (筆)					
	権利関係					
	備考 (関係戸数)					
	面積 (ha)					
	受益者数 (人)					
	筆数 (筆)					
	権利関係					
	備考 (関係戸数)					
合計	面積 (ha)		28.8		28.8	
	受益者数 (人)		93		93	
	筆数 (筆)		316		316	
	権利関係					
	備考 (関係戸数)					

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

1. 用水状況

水源の一級河川大八賀川の取水施設から取水した用水を第一揚水機場、第二揚水機場で貯水槽へ揚水し、受益地へ配水している。
配水系パイプラインは、樹枝状配管で受益地内に配管され、給水栓で各ほ場で取水している。

(1) 用水系統 (別紙現況用水系統図参照)

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

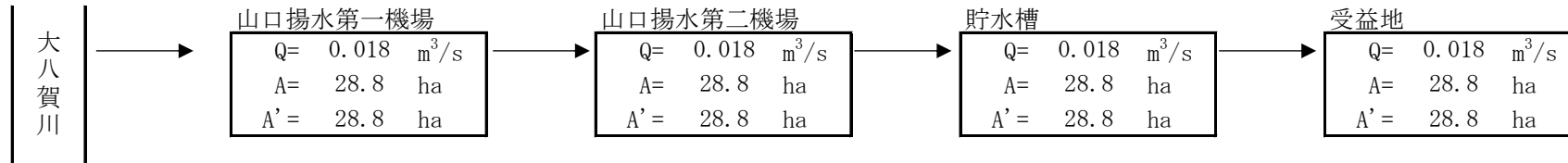
該当なし

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		(箇所)	(ha)	(箇所)	(m ³ /s)	(箇所)	(m ³ /s)	(m ³ /s)	
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)								
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合計															

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の () 書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

用水系統図



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目	施設名 又は 箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考	
	施設名								
水利施設等保全高度化事業	貯水池								
	井堰								
	自然取入口								
	揚水機	2	28.8	多段渦巻ポンプ	N=2基, $\phi 80 \times 15\text{kW}$	H27, H13	老朽化		
	用水路								
	その他	貯水槽	1	28.8	RC造	$V=270.5\text{m}^3$	H13	老朽化	
計		3	28.8						
	貯水池								
	井堰								
	自然取入口								
	揚水機								
	用水路								
	その他								
	計								
合計		3	28.8						

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)	備考
				かんがい期 最大不足水量		かんがい期 総不足水量			
				平均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)		
	計								
	計								
	合計								

注) 団体営事業の場合の「不足水量」欄は基準年。「平均減産量」、「平均維持管理費」欄は記入の要なし。

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (°C)		水質 (pH) 等	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

注) 水温、水質の不良等に基づく被害がある場合。

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考	
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
農村地域防 災減災事業												
合計												

注) 土砂崩壊は「土砂崩壊の場合の想定被害状況」。

2. 排水状況 該当なし

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 該当なし

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
			500ha以上		500ha~100ha		100ha未満		(箇所)	(ha)			
			(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)					
	自然	排水路											
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び 排水機											
		排水路及び 排水機											
	計												
		自然	排水路										
水門													
機械		排水機											
		水門及び 排水機											
		排水路及び 排水機											
計													
合計													

(イ) 改修要する施設の一覧表

該当なし

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする 理由	備考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び 排水機							
		排水路及び 排水機							
	計								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び 排水機							
		排水路及び 排水機							
	計								
合計									

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況						平均減産量		備考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田 (ha)		畑 (ha)		その他 (ha)		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
			平均													
			基準年													
計			平均													
			基準年													

3. 河川状況

(1) 河川の現況 該当なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量	備考
					(m ³ /s)	(m ³ /s)	

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

(第5表-8)

区分	項目	農用地	農用施設	作物	公共施設	備考
		(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	
	過去の最大被害額					
	平均被害額					

第4節 道路現況 該当なし
 1. 道路概況

(別紙現況道路配置図参照) 注) 地区内及び地区外ともBは全幅 () は有効幅員 (0.1 m単位)。

2. 主要道路一覧表 該当なし

(第6表)

NO.	路線名	管理 区分別	延長 (km)	幅員 (m)		構造	改修の 要否	備考
				全幅	有効			

注) 1. 農道整備、農用地造成、干拓及び区画整備の場合 (主要構造物の表も同じ)。
 2. 「管理区分別」欄は、国道、県道、市町村道、農道の区分別。延長は地区内での延長。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

H 27年 10月現在 (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融 保険業 (人)	運輸業 郵便業 (人)	情報 通信業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	教育学 習支援 業 (人)	公務 (人)	医療福 祉 (人)
高山市	87,595	4,965	283	16	32	4,769	6,333	7,793	972	1,713	295	222	1,842	1,385	5,801
計	87,595	4,965	283	16	32	4,769	6,333	7,793	972	1,713	295	222	1,842	1,385	5,801
比率 (%)	100	5.7	0.3	0.0	0.0	5.4	7.2	8.9	1.1	2.0	0.3	0.3	2.1	1.6	6.6

第67次東海農林水産統計年報 第1概況編 III土地及び人口の部 総面積・総人口及び産業別就業人口より
(第68～71次記載なし)

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

R 7年現在（第7表-2）

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		主副業別農家数(戸)			備考	
		0.3 未 満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	経営 耕地 無し	田	畑	樹園地	計	草地	合計	1戸当 団地数	団地当 面積 (ha)	主業 農家	準主業 農家		副業的 農家
高山市	2,077	68	485	746	324	148	141	71	40	16	14	24	1.0	0.6	0.8	2.4	-	2.4			516	247	1,212	
計	2,077	68	485	746	324	148	141	71	40	16	14	24	1.0	0.6	0.8	2.4	-	2.4			516	247	1,212	
比率 (%)	100	3	23	36	16	7	7	3	2	1	1	1	42	25	33	100	-	100			25	12	58	

経営耕地広狭別農家数は「第71次東海農林水産統計年報 第1農業編 II農業経営体の部 7 経営耕地面積規模別経営体数」より
 1戸当たり平均農用地面積は「2020年農林業センサス 2農業経営体 7経営耕地の状況」の耕地面積を経営対数で割り、平均値を算出している
 主副業別農家数は「II農業経営体の部 14 主副業別経営体数(個人経営体)」より
 R 2年 2月現在（第7表-3）

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	乗用型トラクター		動力防除機		田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (千羽)	戸数 (戸)	
高山市	2,511	2,105	-	-	1,380	1,353	776	747	311	8	1,977	27	-	-	-	1	
計	2,511	2,105			1,380	1,353	776	747	311	8	1,977	27				1	
100戸当数量(台・頭)	121		-		66		37		3,888		7,322		-		-		
利用戸数の割合(%)	101		-		65		36		0		1		-		0		

2015年農林業センサス 2農業経営体 18農業用機械を所有している経営体数と所有台数(2020年記載なし)より
 2020年農林業センサス 2農業経営体 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数より

4. 主要作物作付状況

R 4年現在(第7表-4)

市 町 村 名		高山市		岐阜県				計	平 均	作 付 率 (%)	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)		4,480		53,900				58,380	29,190		
総 本 地 面 積 (ha)		4,100		50,700				54,800	27,400		
区 分 作 物 名	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)			
	田	表作									
裏作											
小 計											
畑	春夏作	夏 秋 ト マ ト	113	11,593	-	-			113	11,593	※第71次東 海農林水産 統計年報 V農作物の 部 18野菜 ウ野菜指定 産地の市町 村別作付面 積、収穫量 及び出荷 量、(19)果 樹より
		ほ う れ ん そ う	919	856	-	-			919	856	
樹 園 地	果樹	リ ン ゴ	-	-	75	1,640			75	1,640	
	工 芸 作 物		-	-					-	-	
小 計		1,032	12,449	75	1,640			1,107	14,089		
そ の 他											
計		1,032	12,449	75	1,640			1,107	14,089		
市町村別延作付率 (%)											

5. 農業の動向

高山市

R 2年 2月現在 (第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考				
		C	B	A (現在)		C	B	A (現在)	作物名	C	B	A (現在)	家畜名	C	B			A (現在)	農機具名	C	B
変化の状況 C年を100とする指数	総農家数	100	88	81	耕地	100	78	91	水稻	100	90	111	乳用牛	100	67	83	乗用型 トラクタ	100	89	-	A 2020年センサス B 2015年センサス C 2010年センサス
	主業 農家数	100	93	82	田	100	97	83	豆類 (大豆)	100	39	100	肉用牛	100	-	-	動力 防除機	-	-	-	
	準主業 農家数	100	69	50	畑	100	52	111	野菜	100	17	79	豚	100	121	-	スピード スプレヤー	-	-	-	
	副業的 農家数	100	96	92	樹園地	100	94	89	果樹	100	91	105	採卵鶏	100	41	60	動力 田植機	100	83	-	
	農業 従事者数	100	91	77	牧草他	100	-	-	飼肥料	-	-	-	ブロイ ラー	-	-	-	コン バイン	100	88	-	
変 化 の 理 由	産業別人口が、第1次産業から第2次・第3次へ移行しつつある。			土地利用の動向が、農用地から宅地へと移行しつつある。			水稻の作付けは、ブロックローテーション等による米の生産量調整が定着している。			—			農家数の減少に伴い、動力農機具の所有数も減少傾向にある。								

2010年農林業センサス (C年)、2015年農林業センサス (B年)、2020年農林業センサス (A年)とした。

第6節 地域環境の概況

本区域は高山市の一部で形成され、岐阜県北部である飛騨地域の中央部に位置しており、北に隣接する古川都市計画区域とそのさらに北に位置する神岡都市計画区域、南に位置する下呂都市計画区域とともに、(国)41号及びJR 高山本線を軸にして飛騨地域を構成しています。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

山口地区は造成から約50年が経過しており、施設の老朽化が生じている。

水源の一級河川大八賀川の取水施設から取水した用水を第一揚水機場、第二揚水機場で貯水槽へ揚水し、受益地へ配水している。配水系パイプラインは、樹枝状配管で受益地内に配管され、給水栓で各ほ場で取水している。

このうち、取水管や揚水ポンプは老朽化が進行しており、更新する必要がある。また、第一揚水機場は大雨により浸水することから高地への移設が必要である。

そのため、本事業で施設の長寿命化に向けた整備を行うものである。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用 区 分 事業 目的	水利施設等保全高度化事業														合計 (ha)
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園		小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園		小計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	
畑地かんがい		28.80	-	-	-		28.8								28.8
計		28.80	-	-	-		28.8								28.8

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

施設の改修により、用水供給の安定化を図ると共に、既存の優良農地における生産性確保を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他		小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
水利施設等保全高度化事業	現況		28.8	-	-	-			28.8				28.8	かんがい受益面積
	計画		28.8	-	-	-			28.8				28.8	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況		28.8						28.8				28.8	
	計画		28.8						28.8				28.8	

3. 作付方式 該当なし

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	区分 地目	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(This table is currently blank with a diagonal line from the bottom-left to the top-right.)																																								

○播種
△定種
×収穫

注) 開拓パイロットおよび畑かん事業の場合必ず記入。それ以外の事業にあたっては計画で作付体系が大幅に変更する場合のみ記載。

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産増量増減の内訳 (t)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加	
水利施設等保全高度化事業	畑	トマト	10.9	10.9		47.4	47.4	11,593	11,593		1,264	1,264				
		ホウレンソウ	10.8	10.8		47.0	47.0	856	856		92	92				
		小計	21.7	21.7		94	94	12,449	12,449		1,356	1,356				-
	果樹	リンゴ	1.30	1.30		5.7	5.7	1,640	1,640		21	21				
		小計	1.3	1.3		6	6	1,640	1,640		21	21				
	合計	23.0	23.0		100	100	14,089	14,089		1,377	1,377				-	

注) 「作付面積の合計」欄の()は実面積、外は延べ作付面積。(△は減を示す。)

注) 作付け面積は、受益面積28.8haに本地率80%を乗じたものとする。

5. 労働改善計画 該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備考		
				区分	現況	計画	増減			
				人 力				/		
				機 械 力						
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				
						人 力				
						機 械 力				

注) 「作物名」欄は「4. 生産計画」に準ずる。(△は減を示す。)

6. 級地別土地利用区分 該当なし

(第9表-5)

土地利用区分		区分	農用地造成 (ha)					干拓 (ha)					備考
		級地名	一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田												
	輪換耕地												
	畑												
	(普通畑)												
	(牧草畑)												
	樹園地												
	(果樹園)												
	(桑園)												
その他													
計													

7. 土地配分計画 該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草地	樹園地			
増反 入植									

第3節 用水計画

1. 計画基準年

2. 計画かんがい方式 普通畑 点滴かんがい、スプリンクラかんがい

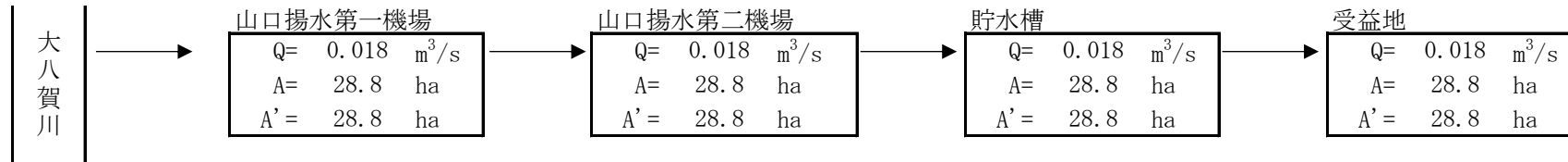
かんがい期間（普通畑）

（第10表）

栽培方式	区分	代 掻		用 水 補 給		備 考
	期 間	自 ~ 至	日 数	自 ~ 至	日 数	
特 早 期		~ 月	日	~ 月	日	
早 期		月 日 ~ 月 日	日	月 日 ~ 月 日	日	
普 通 期		月 日 ~ 月 日	日	4 月 30 日 ~ 11 月 30 日	215 日	

3. 計画用水系統（別紙計画用水系統図参照）

用水系統図



4. 計画用水量
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい		水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量	
		事業名			面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)	面積 (ha)	平均			最大	
		水利施設 等保全高 度化事業		計														普通期 計画 平均 単 位 用 水 量 (mm/日)
山口地区	農業用水	28.8		28.8							5	5	28.8			10	-	0.0196
計		28.8		28.8									28.8					0.020

注) 1. 計画平均単位用水量、計画代掻単位用水量は系統別の減水深の荷重平均値、()は最大値。
2. 計画平均かん水深は畑かん期間の1回当りの平均かん水深を平均間断日数で除した値。

(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名	計	単位給水量 (L/日)	最大給水量 (L/日)				

5. 水源計画

(1) 水利用計画 該当なし

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m ³)	有効水量 b (千m ³)	純用水量 c=a-b (千m ³)	粗用水量 d=c/(1-α) (千m ³)	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源工種	備考 損失率 : α
					水源名	取水地点 利用 可能量 e (千m ³)	ほ場利用 可能量 f (千m ³)	純不足 水量 g=c-f (千m ³)	全不足 水量 h=d-e (千m ³)	水源名	水量 (千m ³)		
計													

注) 1. 「区分」欄は農業用排水、区画整理、農用地造成等の分類。及び水田補水、畑かん等に細分。

2. 純用水量、田畑面利用可能量、純不足水量には損失を含まず、全不足水量には水路損失を含む。

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(第10表-3)

項目 取水池名	流域面積		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接 (km ²)	間接 (km ²)	事業名							
			水利施設等保 全高度化事業		計					

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
計											

(3) 排水路

該当なし

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		排水施設		計							
計											

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

(第12表-2)

索道 項目 路線名	該 当 な し 能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図 該 当 な し …………… 注) 既設道路との接続関係、計画路線名、幅員の区分。

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(第13表-1)

(1) 農用地造成計画 該 当 な し

項目 地目名	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 状	標 準 区 画 の 形 状	備 考

注) 1. 「地目」欄は「事業別面積」(第8表)の地目に区分。「主要作物」欄は普通畑を牧草畑、そさい畑に区分。樹園地は樹種名。

2. 「耕地の形態」欄は畑、樹園地についてのみ「改良山成畑」、「山成畑」等の別。

(2) 末端道水路配置図 該 当 な し

2. 土壌改良

該当なし

(第13表-2)

区分	項目 面積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y ₁)	リン酸 吸収係数 (mg/100g)	ha 当 所 要 量			備 考
			H ₂ O	KCl			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

該当なし

(第14表-1)

地 点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)	備 考

3. 貯水池

該当なし

(第14表-2)

貯水池名	流域面積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量			計画調整 流量 (m ³ /s)	可能調整 流量 (m ³ /s)	備 考
	直接 (km ²)	間 接 (hr)		有 効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	他目的 (千m ³)			

- 4. 洪水調節検討
 - (1) 河川改修計画との関係
該当なし
 - (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
該当なし
 - (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討
該当なし

- 5. 管理計画
 - (1) 管理機構
該当なし
 - (2) ダム管理操作上の各種基準
該当なし
 - (3) 洪水調節要領
該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

名称	項目	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考
(This table is currently empty and crossed out with a diagonal line.)							

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 該当なし

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い 該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備 考

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備 考
	事業	業名	計						
計									

(2) 心土破碎

該当なし

(第16表-3-2)

区分	面積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名					
			計			

3. 客土

該当なし

(第16表-4)

区分	面積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	減 水 深 (mm/day)		作 土 の 厚 さ (cm)		10a当 客土量 (m ³)	土 壤 の 性 質		備 考
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土 地 (客土材料) (%)	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

該当なし

(第16表-5-1)

施設名	項 目	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工

該当なし

(第16表-5-2)

区分	項 目	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
					単 位 排 水 量 (m ³ /s/ha)	全 排 水 量 (m ³ /s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該当なし

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備考

注) 「施設名」欄は主要な施設の名称、「位置」欄は水路名。

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

観測所名:

日雨量

r 24= mm/day (1/200年確率日降雨量)

t= min

re= mm/hr

(2) 計画洪水量

該当なし

洪水量

$$Q = \frac{1}{3.6} \times f \times r \times A \times 1.2$$

流出率 f= %

項目	型式	計画洪水量 (m ³ /S)	越流水深 (m)	越流堰長 (m)	洪水吐能力 (m ³ /S)	ゲート巾×高(m)	備考
池名							

2. 堤体補強計画

該当なし

項目	法面勾配		法面保護工				漏水防止工		備考
	上流	下流	上流	数量(m ²)	下流	数量(m ²)	工法	数量(m ³)	
池名									

3. 取水施設改修計画

該当なし

項目	取水量 (m ³ /S)	斜樋又は竖樋			底樋			備考
		型式	径(mm)	長さ(m)	型式	径(mm)	長さ(m)	
池名								

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

(第17表-1)

名称	流域面積 (ha)		位置		堤体積 (千/m ³)	基盤地盤地質	貯水量 (千/m ³)		
	型式	直接	間接	堤高 (m)			堤長 (m)	総貯水量	有効貯水量
堤体									
洪水吐	型式			取水施設	型式	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	

2. 頭首工 該当なし

(第17表-2)

名称	型式	堤高 (m)	堤長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
			固定部	可動部	計				

- 注) 1. 「堤高」欄は堤体底面から堤頂までの高さ、下段 () は堤頂標高。
 2. 「取水位」欄は取水水門直上水位、「取水量」欄は期間最大値。
 3. 「付帯施設」欄は土砂吐、取水水門 (取水門のみの場合の「堤長」欄は「構造」。)

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (HP)	台数 (台)	
第一揚水機場		0.540	67.00	66.83	多段渦巻	80	2				
第二揚水機場		3.850	67.000	53.3	多段渦巻	80	2				

2. 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (HP)	台数 (台)	

注) 「排水量」・「揚程」欄は計画値、「排水機の型式」欄は軸流、渦巻等の種別、「原動機の型式」欄は電動機、内燃機関の別。

3. 排水路

該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
計											

注) 1. 「排水量」欄は計画排水量、「構造」欄はブロック・コンクリート柵渠・コンクリートU・V字溝・土水路の分類。

2. 基幹用水路の他、区画整理の小排水路も含む。

4. その他排水施設

該当なし

(2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

路線名	項目	名称	規模	構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

注) 主要構造物は道路の一部で道路としての機能を持つトンネル、橋等。(橋はスパン5m以上)

2. 索道 該当なし

(第19表-3)

名称	項目	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
					型 式	動 力 (HP)	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根 該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(2) 除礫 該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha 当 標 準 除 礫 量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

(3) 開墾作業 該当なし (第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考
	造成工法			

(4) 地目変換 該当なし (第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工法	備考

(5) 末端用水路等 該当なし (第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

(6) 末端排水路等 該当なし (第20表-6)

区分	項目	数量	規模	構造	備考

2. 土壌改良 該当なし (第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	リン酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考

第5節 洪水調節機能

1. 貯水池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 該当なし (第21表-2)

名称			位置	長			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
型式	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	堤						
			固定部	可動部	計				

(2) 導水路 該当なし

(第21表-2)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防 該当なし

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造				原地盤標高 (m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	

2. 潮止め 該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3. 附属施設 該当なし

4. 埋立 該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m ³)	施工方法	備考

第7節 農用地施設整備

1. 区画整理

(1) 区画整理 該当なし

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工 量		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等 該当なし

(第23表-3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	受益面積 (ha)			集 水 渠				排 水 渠					集水渠出口以下の排水施設				
	事 業 名	計		勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数 量	

(2) 心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考

3. 客土 該当なし

(第23表-5)

区分	項目	面積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
		事業	業名	計					

4. 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考

5. 農地保全
(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし

(第23表-8)

区分	項目	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-9)

名称	項目	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該当なし

(第24表)

名称		美濃加茂市山岡町上手向							
堤体	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	位置 堤長 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考	
	洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考
						斜樋 底樋			

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

位置	種類	工法	数量	備考

(2) 漏水防止工 該当なし

位置	種類	工法	数量	材料組成	備考

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期
 着工予定 令和 8 年度 完了予定 令和 12 年度

2. 工事の年度割予定 単位：千円

年 度	全 体	R8	R9	R10	R11	R12				
	262,900	43,000	55,125	55,125	54,825	54,825				
割合 (%)	100	16.4	21.0	21.0	20.9	20.9				

第8章 環境との調和への配慮

- ・法面部分が発生する場合は、適切な緑化を施し、周辺環境との調和を図る。
- ・保全対象種が確認された場合は、専門家等の科学的知見をもとに適切な対策を講じる。

第9章 換地計画の概要

- 第1節 換地計画の基本的事項 該 当 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積 該 当 な し (第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)

注) 「換地区の所在」欄は当該換地区の市町村、大字(字、町)。「面積」欄は小数点以下2位を四捨五入。

2. 換地区を設定する理由 該 当 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の面積の基準 該 当 な し (第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準

注) 「地積の基準」欄は、「事業主体、市町村等の行う実測による地積」「土地改良事業に係る計画概要の公告の日の登記簿地積」、「土地改良事業計画決定(認可)の日の登記簿地積」。「国土調査法による地積調査に基づく登記が完了している土地にあっては土地改良事業計画の認可の日の登記簿地積」の別。

3. 農用地集団化の方針 該当なし

(第25表-4)

項目 換地地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地換地の方法 該当なし

(第25表-5)

項目 換地	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 該当なし

2. 清算の方法 該当なし

第5節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

(第25表-6)

項目 換地	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

1. 事業費の総額

千円
276,000

2. 事業費の内訳

工事費

千円
262,900

地方事務費

千円
13,100

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)		備 考
純工事費		216,100		
工 事 費	1 式	216,100		
測 量 試 験 費		41,800		
用 地 補 償 費		400		
工 事 雑 費		4,600		
小 計		262,900		
地 方 事 務 費		13,100		
合 計		276,000		

第11章 効 用

(第27表)

区 分 効果項目	水利施設等保全高度化事業					
	年 総 効 果 額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年 総 効 果 額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年 総 効 果 額 (千円)	年総増加所得額 (千円)
作物生産効果	46,026	46,413				
営農経費節減効果	△ 8,963					
維持管理費節減効果	△ 460	-				
国産農産物安定供給効果	2,824					
計	39,427	46,413				
総 便 益 額	816,932					
総 費 用 総 便 益 比	1.19					
総 所 得 償 還 率 (%)	0.5					
増 加 所 得 償 還 率 (%)	-					

第12章 関連する事業

該当なし

(第28表)

事 業 名	計 画 概 要	受 益 面 積 (ha)	総 事 業 費 (千円)	工 期	前年度進捗率 (%)	本 事 業 と の 関 連 性

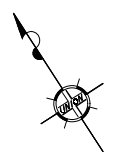
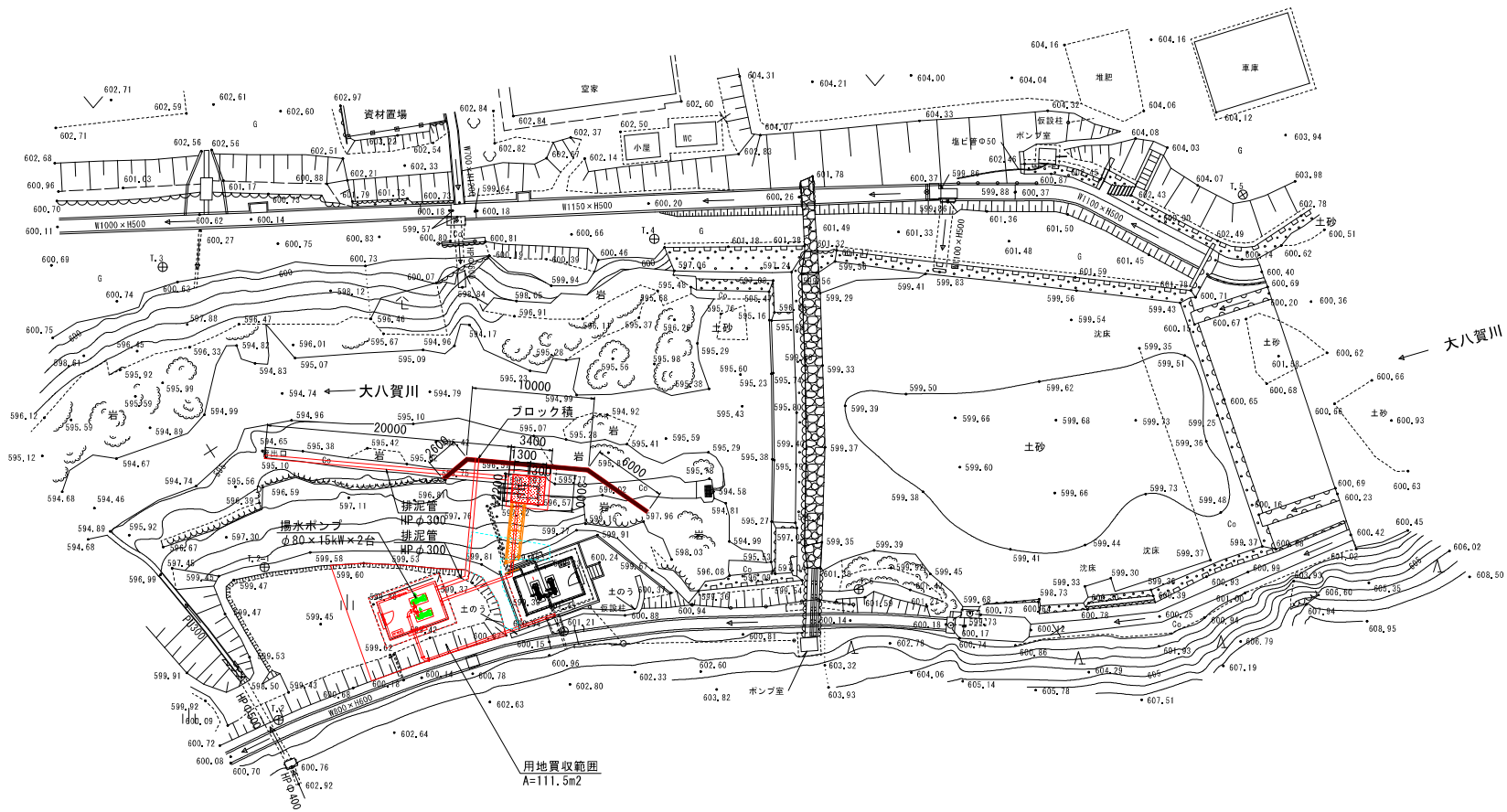
第13章 現況・計画図面

別紙による

第一揚水機場 計画平面図

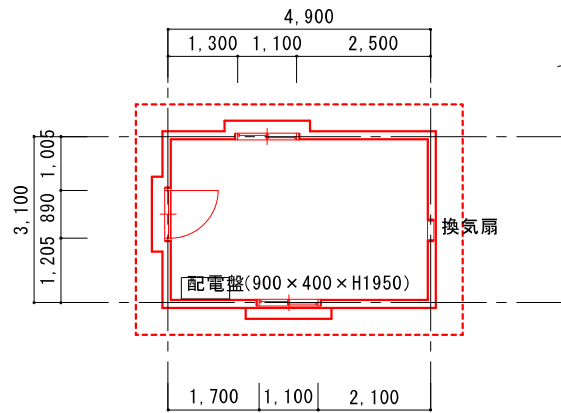
計画平面図 S=1:200

高山市 漆垣内地区

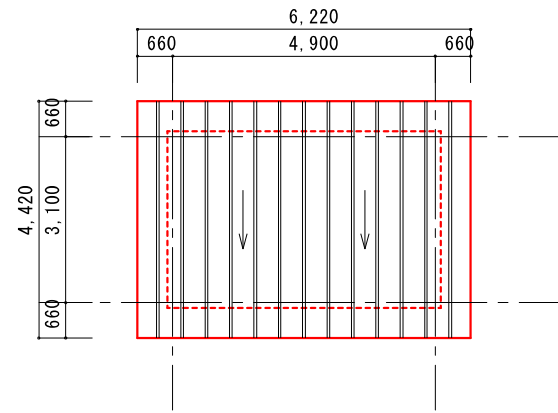


業務名/工事名	飛か計第0701号 東管かんがい排水事業（保全合理化型）山口地区 施設計画策定業務		
路線・河川名	山口バイパスライン		
池工箇所名	高山市 山口町 地区 他		
図面の種類	計画平面図		
縮尺	1:200	図面番号	7 案之内 1
会社名	株式会社 ユニオン		
事務所名	岐阜県飛騨郡志保事務所		

第一揚水機場建屋

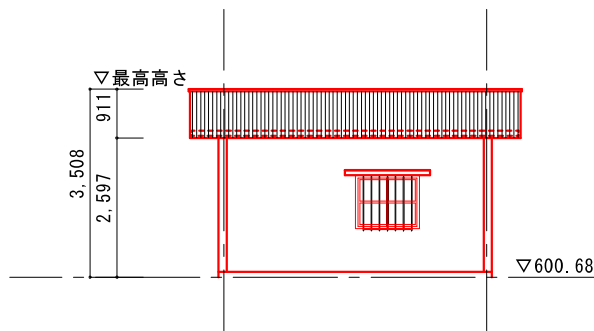


平面図 1/100

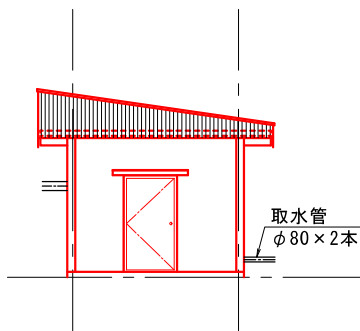


屋根伏図 1/100

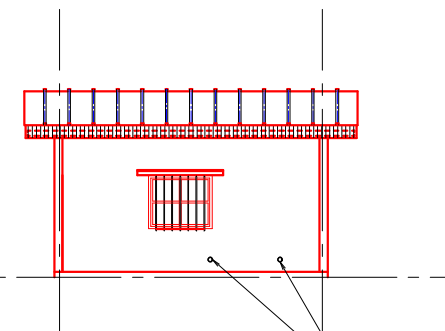
延べ面積	4.9×3.1=15.19m ²
建築面積	4.9×3.1=15.19m ²



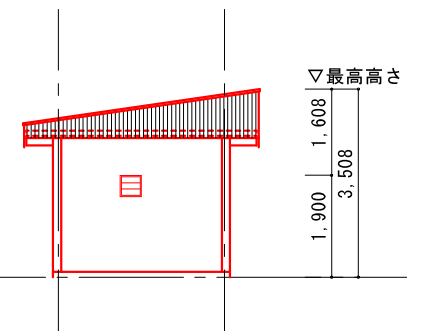
南面立面図 1/100



西面立面図 1/100



北面立面図 1/100

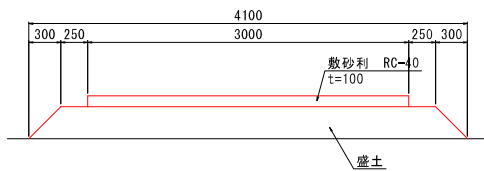
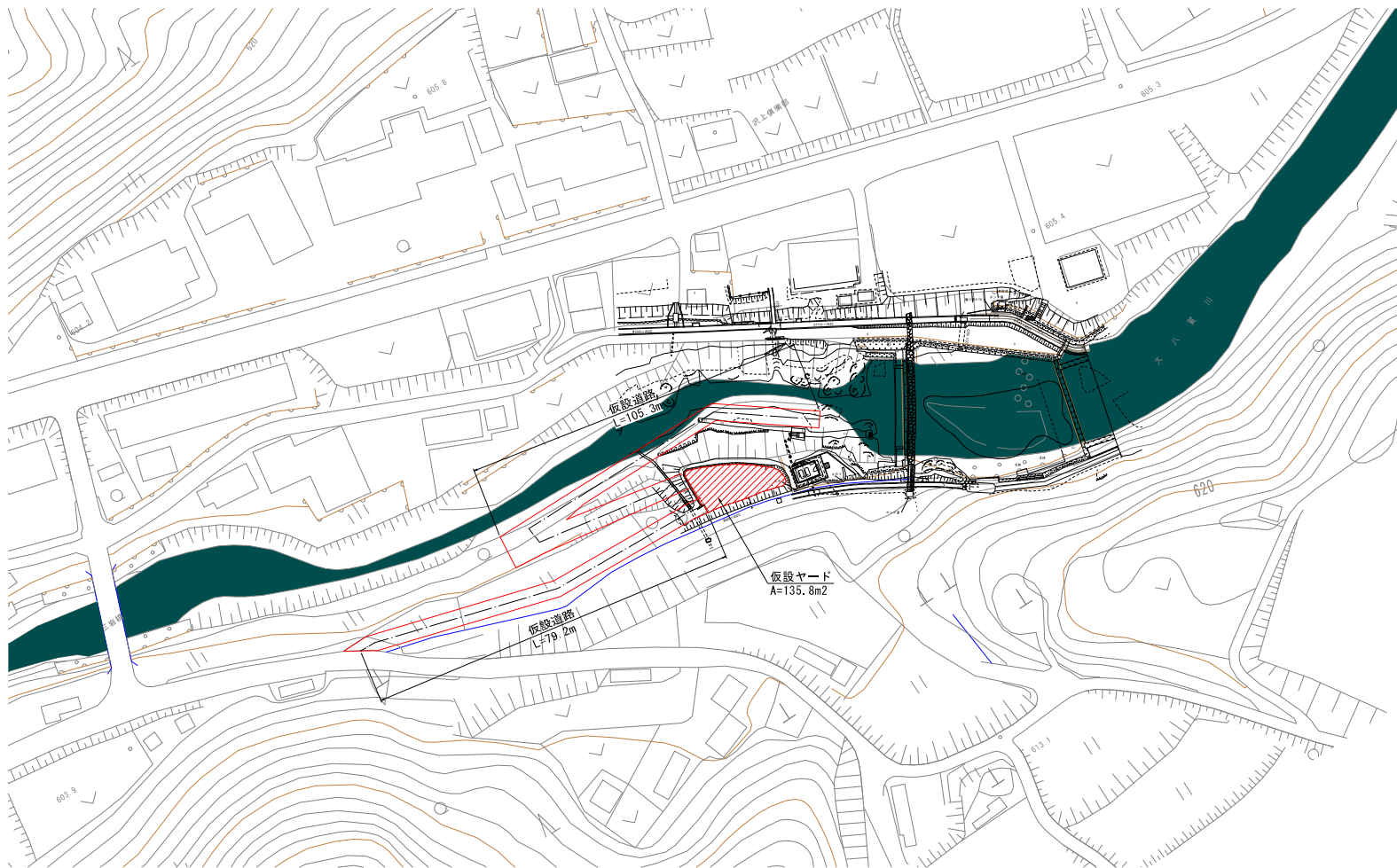
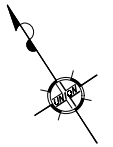


東面立面図 1/100

業務名/工事名	飛か針第0701号 県管かんがい排水事業（安全合理化型）山口地区 施設計画策定業務		
路線・河川名	山口バイパスライン		
施工箇所名	高山市 山口町 地内 他		
図面の種類	現況平面図・屋根伏図・立面図		
縮尺	1:100	図面番号	7-業之内3
会社名	株式会社 ユニオン		
事務所名	岐阜県飛騨農林事務所		

※寸法は現地調査結果より

仮設工



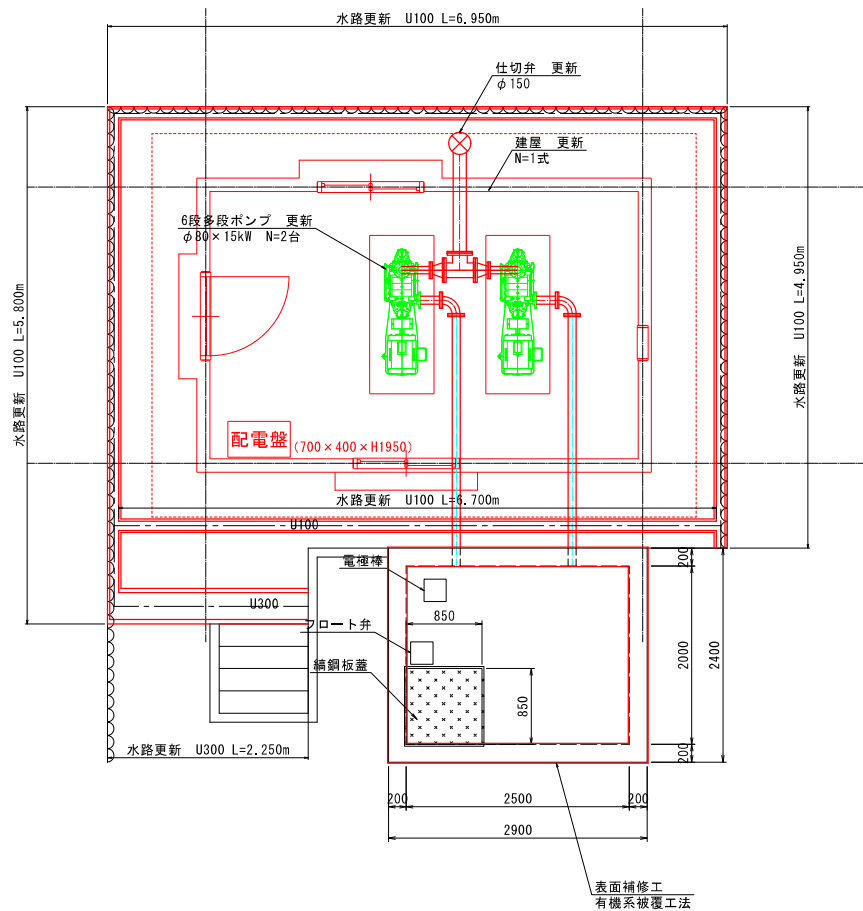
業務名/工事名	飛か計第0701号 東豊かんがい排水事業（保水合理化型）山口地区 施設計画策定業務		
路線・河川名	山口バイパスライン		
施工箇所名	高山市 山口町 地内 他		
図面の種類	仮設工		
縮尺	1:500	図面番号	7 策之内 4
会社名	株式会社 ユニオン		
事務所名	岐阜県飛騨農林事務所		

第二揚水機場 改修一般図

S=1:30

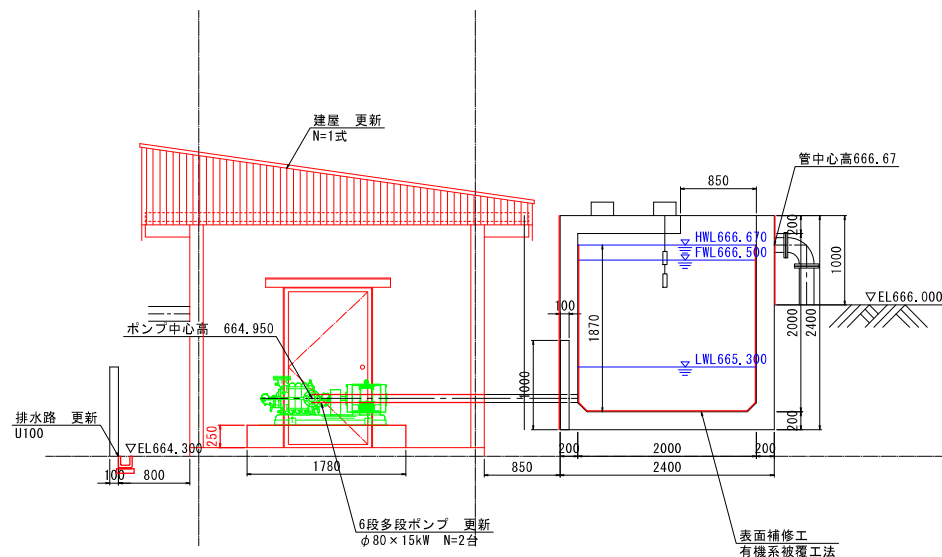
計画平面図

S=1:30



計画断面図

S=1:30

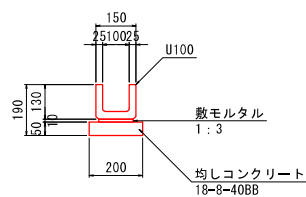


東面立面図

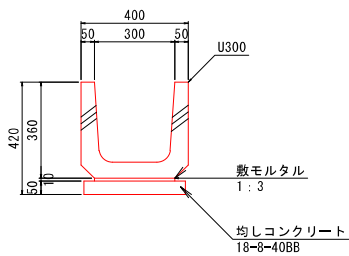
排水路標準断面図

S=1:10

U100

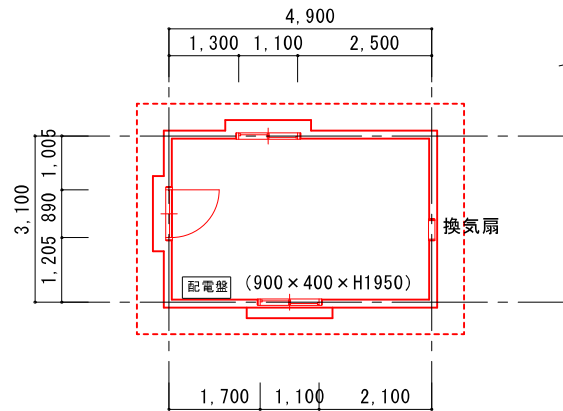


U300

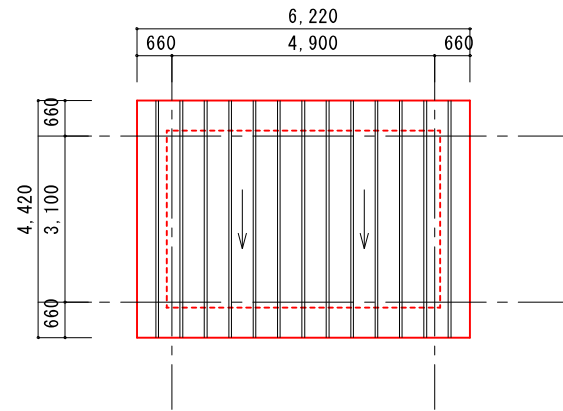


業務名/工事名	飛か計第0701号 東管かんがい排水事業（保全合理化型）山口地区 施設計画策定業務		
路線・河川名	山口バイパスライン		
施工箇所名	高山市 山口町 地内 他		
図面の種類	第二揚水機場 改修一般図		
縮尺	1:30	図面番号	7 葉之内 5
会社名	株式会社 ユニオン		
事務所名	岐阜県飛騨農林事務所		

第二揚水機場建屋

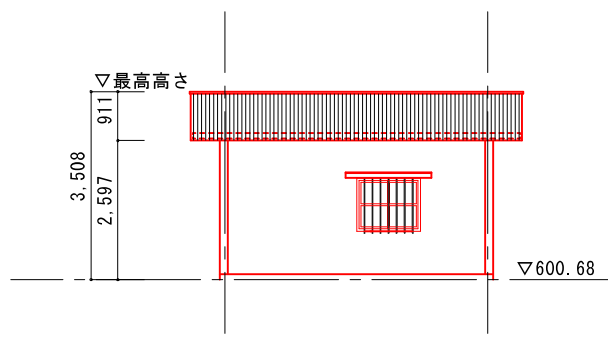


平面図 1/100

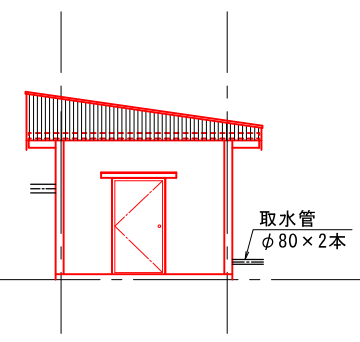


屋根伏図 1/100

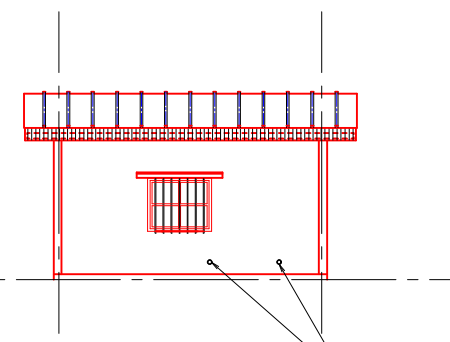
延べ面積	4.9 × 3.1 = 15.19m ²
建築面積	4.9 × 3.1 = 15.19m ²



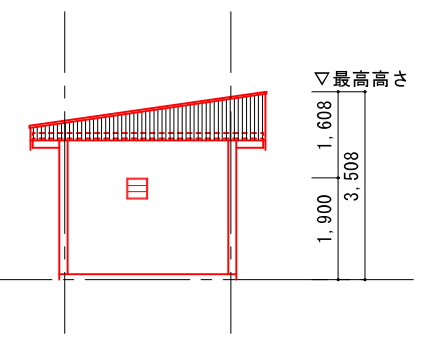
南面立面図 1/100



西面立面図 1/100



北面立面図 1/100



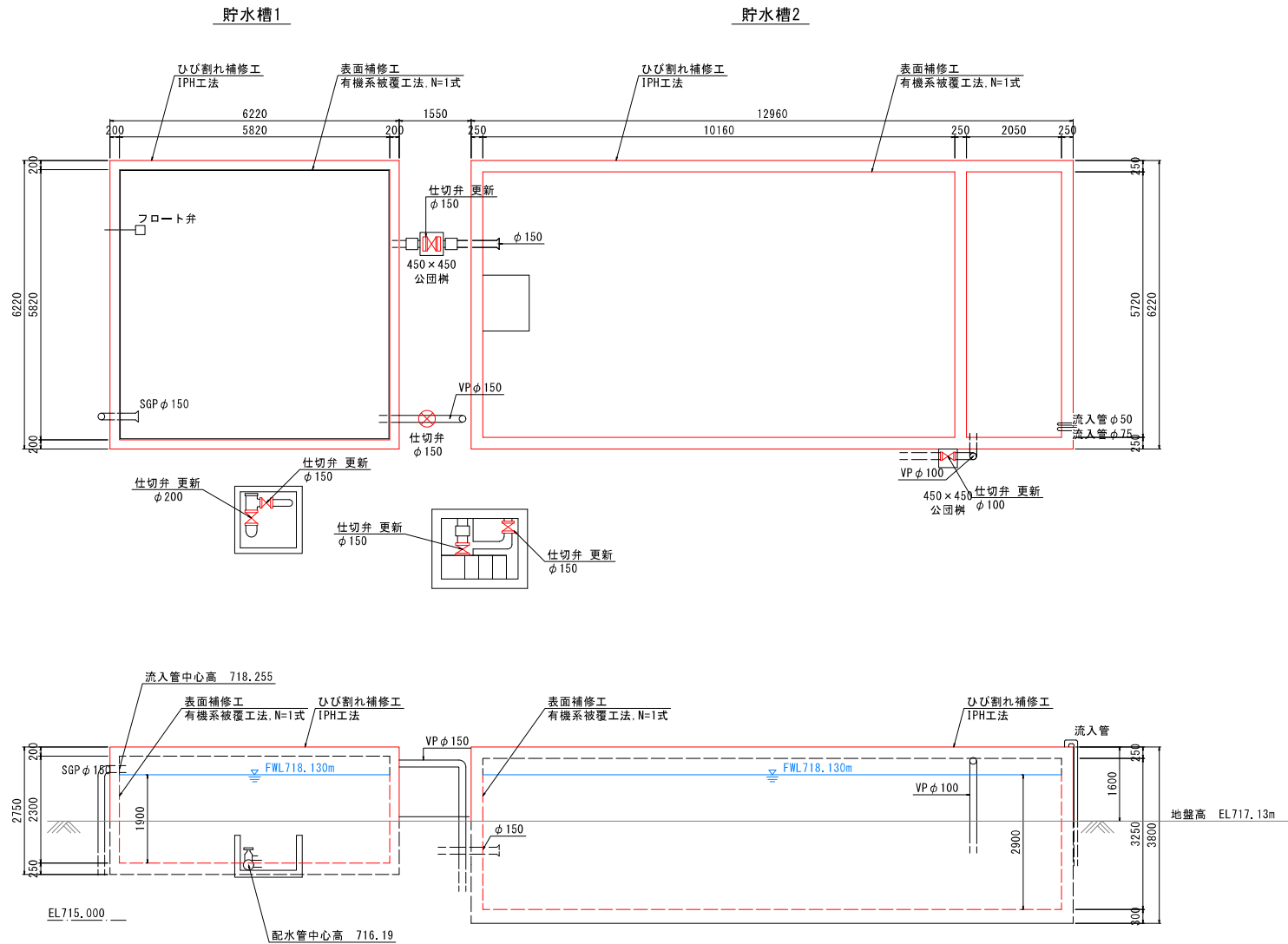
東面立面図 1/100

業務名/工事名	発設計第0701号 農道かんがい排水事業（後全合理化型）山口地区 概設計画策定業務		
路線・河川名	山口バイパスライン		
施工箇所名	高山市 山口町 地内 他		
図面の種類	平面図・屋根伏図・立面図		
縮尺	1:100	図番番号	7 業之内 6
会社名	株式会社 ユニオン		
事務所名	岐阜県飛騨農林事務所		

※寸法は現地調査結果より

貯水槽 計画一般図

S=1:50



業務名/工事名	飛か計第0701号 東宮かんがい排水事業（保全合理化型）山口地区 施設計画策定業務		
路線・河川名	山口バイパスライン		
池工箇所名	高山市 山口町 地内 他		
図面の種類	貯水槽 計画一般図		
縮尺	1:50	図面番号	7 葉之内 7
会社名	株式会社 ユニオン		
事務所名	岐阜県飛騨農林事務所		